

よしみ

議会だより

令和3年
5月議会臨時会
6月議会定例会

No.163

● 議会人事

● 議案審議結果

● 一般質問に9名登壇

P2~3

P5・9

P10~14

出水期に向けて仮設対応

議長、副議長および監査委員決まる



議長 岩崎 勤



副議長 柳谷 泉



監査委員 宮崎雄一

(撮影時のみ、マスクを外しています)

》就任あいさつ

町民の皆様には、平素より吉見町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和3年5月14日(金)に開催されました臨時議会におきまして、第42代目の吉見町議会議長に就任いたしました岩崎勤でございます。

身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところであります。議長として円滑かつ公正な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

今年度から町の第六次総合振興計画がスタートいたしました。計画のテーマであります「未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまち よしみ ー20年先への種まきー」の実現に向け、議会といたしましても、公正・公平で効率的に行われているかチェックしてまいります。人口の減少を少しでも抑え、活気あふれるまち、よしみに住んで良かったと思われるよう全力で取り組んでまいります。

今後におきましても、議会三役である柳谷泉副議長、議会選出の宮崎雄一監査委員と共に議会の先頭に立ち、14人の議員が一丸となって更なる町の発展のため、鋭意努めてまいりますので、町民の皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げ就任のあいさついたします。



議会運営委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問に関する事項について調査を行うこと、議案、請願等の審査をします。



秋山真美

齊藤嘉宏

尾崎 豊

◎安孫子和子

○小林周三

(撮影時のみ、マスクを外しています)

新しい議会体制が決まる



5月議会臨時会は、5月14日の1日限りの会期で行われ、専決処分の1議案、一般会計補正予算の1議案、監査委員の選任が承認、同意されました。議員提出の発議1議案は否決されました。

6月議会定例会は、6月15日から18日までの4日間の会期で行われ、令和3年度一般会計および特別会計等の補正予算、条例の一部改正、監査委員の選任同意などの14議案が可決、同意、推薦されました。

総務建設常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

総務課、自治財政課、総合政策課、産業振興課、税務会計課、環境課、まち整備課、水生活課、議会事務局および農業委員会に関することを担当し、議案、請願等を審査します。



土田健壽 杉田しのぶ 柳谷 泉 宮崎雄一
小林周三 ◎秋山真美 ○荻野 勇
(撮影時のみ、マスクを外しています)

教育福祉常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

町民健康課、長寿福祉課、子育て支援課、教育総務課および生涯学習課に関することを担当し、議案、請願等の審査をします。



齊藤嘉宏 戸谷照喜 安孫子和子 岩崎 勤
小宮 榮 ◎尾崎 豊 ○神田 隆
(撮影時のみ、マスクを外しています)

議案 38

専決処分の承認を求めることについて(吉見町税条例等の一部を改正する条例)個人住民税、固定資産税、軽自動車税など

賛成 全員

主な質疑

問

太陽光設備の固定資産税は、事業所の敷地内に設置する設備や自家消費目的の設備のみを対象としている自治体もあるが、吉見町ではどうか。

答

太陽光設備は、すべて該当としている。

特例措置は、地域雇用の創出や地域経済の発展に寄与するための措置。特例措置の目的に合致しない売電目的の太陽光設備に優遇措置を行うことは見直すべきと考えるが。

他自治体の例や情報等も確認していく。

議員

提出者

日本共産党 杉田しのぶ議員

賛成討論

町内で売電目的の太陽光設備が増えている現状がある中、町の判断で固定資産税の優遇措置の対象としないこともできるため、見直しを求め、賛成。

議案 39

一般会計補正予算(第1号)ワクチン接種に関連する費用の増額5152万4千円を追加し、予算総額を73億952万4千円に

賛成 全員

主な質疑

問

コロナウイルスワクチン接種予約状況は。

答

予約開始1日目で2390件の予約を受付けた。電話356件、web2034件、対象高齢者の約42%受付完了。

スマートフォンやパソコンなどに不慣れな方に対し、町として、出向いて対応する考えは。

予約をしたかったけど、出来ない事のないように、町としてやれることは、すべて取り組む。

予約キャンセルに対する対応は。

キャンセルに対応するリストを作成していく。内訳は、当日集団接種会場での未接種の看護師、従事者の町職員を優先接種し、一般町民は考えていない。

予防接種健康被害等調査委員会 は、町で組織を作るのか。

町で設置する。ワクチン接種の副反応等で健康被害が発生した時、国の疾病障害認定審査会に救済の請求をする際に、医学的な立場から必要な調査資料を作成する。

吉見町では、高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種は、7月末で終了するのか。

総務省の方から、一方的な電話があったが、接種が早期に終了するのが重要であるため、確約はできないが、7月末終了を目指して取り組んでいく。

町長の接種は、どうするのか。

自分の順番が来たら、予約する。それまでは、感染しないように意識を持って行動する。

現在、吉見町が持っている基金はいくらか。

4月30日現在、合計で約18億円である。

議員

提出者

趣旨

提出者 杉田しのぶ

町議会議員による虚偽発言、虚偽記載の事実がありながら、吉見町の議員として、これを黙認することは、議会への信頼を著しく損ねることになる。今、議会としてこの事実に向き合い、繰り返されることがないように、議会の意思を確認し、表明することが必要である。

今後、二度と虚偽行為が起こることがないように細心の注意を払い、万が一、誤って虚偽行為が認められた際には、その当事者が責任をもって真実を公表し、議会への信頼を損ねることがないように対処することを確認し、ここに決議する。

主な質疑

問

議員の個人名が入っていて、人によってはいかがかという意見もあるが、提出者の考えは。

答

事実を伝えるためには、いつ、どこで、誰が、何をしたか、ということを明確にするのが不可欠。実名を明かさなないことは、町民に余計な推測を与えることにもなる。個人攻撃になるとの懸念もあるようだが、決議文では、個人の批判ではなく、虚偽行為の指摘をしているため、個人攻撃にはあたらないと考える。

決議文の議員に対して、反省を求める文面が入っていないが、決議して終わりなのか。

議会として虚偽の事実に向き合い、少なくとも故意には二度と繰り返さないという決意を町民に示すことが必要という立場で提案した。謝罪については議員各々が対応すべき問題というのが私の見解。

基本的には政治倫理ではないか。繰り返さないためには、議会基本条例で内容を示し、全体で確認する必要があるのではないかと。提出者の考えは。

吉見町議会でも、過去に議会基本条例や政治倫理について研修を行ったこともあったが、多くの議員の賛同が得られずに今日に至っている。議員自ら襟を正すという姿勢を示す意味でも、従来から必要であるという立場に変わりはない。

議員

提出者

日本共産党 齊藤嘉宏議員

賛成討論

議員は虚偽発言をしてはならない。町民に真実を伝える義務がある。さらに、発言内容に責任を持つものであり、仮に誤りがわかった時点で、速やかに訂正することが町民から選ばれた議員。議員一人一人が襟を正し、品位を下げない努力が必要である、その立場から、賛成。

戸谷照喜議員

賛成討論

本件が問うているものは、単なる政治倫理に留まらない。決議書(案)の中にある発言は、法律に抵触するおそれがあると考え。深い反省と謝罪を求めたい。

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	参照	結果	齊藤	土田	戸谷	柳谷	秋山	尾崎	神田	荻野	宮崎	安孫子	杉田	小林	小宮	岩崎
議案第38号	専決処分について(税条例等の一部改正)	P4	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第39号	令和3年度吉見町一般会計補正予算(第1号)	P4	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第40号	監査委員の選任同意について	P2	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第3号	吉見町議会として虚偽行為をなくすための決議(案)について	P5	否決	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	議長

内 容 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第3次)

(単位:千円)

No	事業名	交付対象	事業概要
1	議場内マイク移設	462	・ソーシャルディスタンス確保のため議席マイクを移設
2	総合案内システム活用	1,320	・チャットボット方式の自動応答システム使用料(R2年度に引き続き充当)
3	消毒液等購入	750	各課(各施設)で使用する消毒液、石鹸、手袋等の感染予防消耗品を一括購入
4	GIGAスクール構想 フォローアップ	3,365	・ICT支援員受託料(3,600千円) * 1/2が国庫補助 ・R2年度のWi-Fi機能強化で増額となった通信運搬費(小中計1,565千円) (R2年度に引き続き充当)
5	情報発信機能強化	700	・カメラ、360度カメラ、各付属品、データ編集用パソコン一式
6	自動水栓設置(役場庁舎)	4,700	・トイレの手洗い(26か所)を自動水栓化
7	DX(デジタルトランス フォーメーション)促進	5,000	・電子申請の環境構築 (マイナンバーカードを活用した各種手続きのオンライン化など) ・キャッシュレス決済サービス機器設置 ・オンライン会議用タブレット(20台)
8	証明書コンビニ交付	1,593	・マイナンバーカードを活用して、住民票、印鑑証明書、税証明をコンビニで取得 できる環境の整備
9	加湿空気清浄機設置 (けやき保育所)	1,056	・各保育室(6室)に設置する加湿空気清浄機(12台)を購入
10	熱交換式換気設備 (学童保育所)	2,574	・学童保育所(2か所)に、熱交換式換気設備(各2台、計4台)を設置
11	中小事業者応援金事業	49,775	①令和2年中の確定申告の事業収入または農業収入が元年比で20%以上減 少している事業者(法人、個人事業主、農業者)に、応援金3万円(上限)を交付 ②感染症予防対策を施すための備品購入をした事業者へ応援金2万円(上限) を交付 ・事務費(郵券代、消耗品、印刷製本費等)
12	防災(避難所)資機材 等購入	7,612	・要配慮者対応屋外トイレ用テント(12基)、サーマルカメラ(21台)、パルスオ キシメーター(24台)、防災倉庫設置(西公民館、西部ふれあいセンター)
13	南小トイレ換気設備設置	803	・教室棟トイレ(男女計6か所)に換気扇を設置
14	吉見中学校空調設備設置	4,180	・図書室の空調機能向上 ・会議室(特別教室棟2階)へのエアコン設置
15	自動水栓設置 (西部ふれあいセンター)	370	・トイレの手洗い(男女各2、計4か所)を自動水栓化
16	映像配信環境構築	510	・ビデオカメラ、映像編集用パソコン、映像配信補助機器等
17	自動水栓設置 (埋蔵文化財センター)	250	・講座室(2か所)の手洗いを自動水栓化
18	町民会館デジタル環境整備	350	・フレサよしみWi-Fi設備工事
19	自動水栓設置 (町民体育館、B&G体育館)	907	・町民体育館トイレ(6か所)、B&G体育館トイレ(2か所)の手洗いを自動水栓化
20	B&Gプール施設衛生向上	100	・更衣室(男女)の光触媒加工
	交付対象合計	86,377	

主な質疑

問

新型コロナウイルス対応地方創生交付金の町長の考え方は。

答

一次は、命を守ると公平性を守るで、二次は、一次でやれなかったことをして、今回の三次は、広く浅く取り組む。

プール監視委託料には、受付や清掃が含まれるのか。

受付、清掃、消毒作業も含まれる。

B&Gプールで、新型コロナ感染症対策として実施することは。

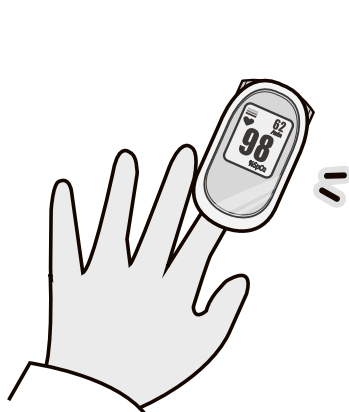
利用者の氏名と体調確認、午前午後の2部制、その間の消毒、町内在住・在学者のみの利用、更衣室は光触媒コーティングで除菌、混雑時はB&G体育館更衣室の併用、監視スタッフのPCR検査の実施など。

中小業者応援金は、対象が1000を超える見込みを立てて組まれているが、予算に達しない場合も考えられる。執行残がでた場合は、第4次の際に、中小企業の支援に関わる対策に充当してほしい。

支出されなかった分の扱いは、第4次に併せて広くコロナ対策に対応できるように考えていく。

議員

提出者



パルスオキシメーターは、血中酸素濃度を測定する



画面に顔を写すだけで、検温できるサーマルカメラ



屋外用トイレ用テント

議案

41

居宅介護支援事業者に感染症や災害への取組の義務付け、利用者の人権の擁護や虐待の防止等のため、従業者に研修を実施するなど事業者の体制を強化する項目を追加

賛成全員

主な質疑

問

テレビ電話装置等の活用や研修実施などの項目が増え、職員の業務の負担が増え、経営的にも大きな負担となるのではないか。

答

事業所にとっては、新たな業務となるので、負担になることは認識している。町の条例は、国の基準に準じて同様に改正する。なお、令和6年3月までは、経過措置期間となっている。

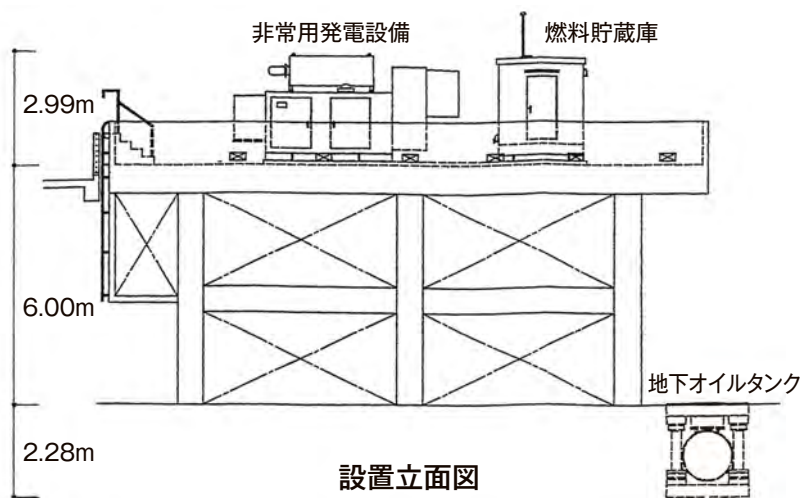
事業者が担う人的、物的、費用の負担を町はどのように考えるか。

今後事業者の皆様には、計画の策定や研修方法などに関する情報を提供し、積極的に支援していく。

議員

提出者

契約金額 1億2210万円
 施工期間 契約の日から
 令和4年3月31日まで
 設置場所 役場庁舎北西側



主な質疑

問

浸水想定区域内にある役場に非常発電設備を設置するに燃料用オイルタンクを埋設するが、水害時に通気管から水の侵入はないのか。

LPガス発電機だとタンク内に水が入ることはないが、見直す考えは。

水害時に燃料が流出可能性のある、3000ℓのタンクの必要性は。

軽油3000ℓは、1年で劣化するが、処分方法は。

浸水時、発電機のスイッチは誰が入れるのか。

浸水時、発電機の所に船で行くのか。

発電機のメンテナンスは、どのように行うのか。

答

防水仕様になっている。近隣でもこの仕様を採用しているので、安全なものとして認識している。

環境面も含め、さまざまな観点から検討をした結果であり、見直しの考えは、ない。

72時間連続運転するためには、容量950ℓの貯蔵庫と3000ℓの地下タンクと合わせますと3950ℓの燃料確保が必要。

軽油の保存期間は約6か月。古い軽油は、産業廃棄物として、業者に引き取ってもらう。

※セルモーター方式で、自動で始動する。

浸水が想定される場合、数日間あり、庁舎内に職員が待機しているので、庁舎2階から発電機の所に行く。

来年度以降、維持管理業者に依頼する。

※セルモーター方式とは、モーターの力を利用してエンジンを始動させる。

議員

提出者

反対討論

令和の会 神田隆議員

提案理由は、大規模災害等により役場庁舎への外部からの電力供給が途絶えた際に、事業継続に必要な電力を供給するための非常用電源設備を整備するため。役場の浸水想定高さが3mから5mとなるとの答弁。通気管高さが4mであり、通気管からの水等の侵入の有無の担保がとれていない。また、非常用発電機の軽油燃料の保管期間が6か月で、財政面から見ても無駄な経費になると考え、発電機の選定の面から、反対。

日本共産党 杉田しのぶ議員

賛成討論

ゼロカーボンの立場で調査をしたが、太陽光と蓄電池を併用した非常用電源設備では、町で必要とする電力量はカバーしきれない。首都直下地震も予測されている中、ガスも適さないと考え、賛成。

議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	参照	結果	齊藤	土田	戸谷	柳谷	秋山	尾崎	神田	荻野	宮崎	安孫子	杉田	小林	小宮	岩崎
議案第41号	吉見町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	P7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第42号	吉見町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長
議案第43号	吉見町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第44号	吉見町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第45号	請負契約の締結について	P8	可決	●	●	●	×	●	×	×	×	●	●	×	×	×	議長
議案第46号	令和3年度吉見町一般会計補正予算(第2号)	P6・7	可決	●	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	議長
議案第47号	令和3年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第48号	令和3年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第49号	令和3年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第50号	令和3年度吉見町水道事業会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第51号	監査委員の選任同意について	P9	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第52号	吉見町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	P9	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第53号	吉見町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	P9	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第54号	人権擁護委員の候補者の推薦について	P9	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

人 事

(撮影時のみ、マスクを外しています)

監査委員の選任同意

監査委員に
新井和利氏を
選任同意(新任)しました。

今泉在住



人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者に
小池幸氏を
推薦(再任)しました。

流川在住



固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会
委員に関口利夫氏を
選任同意(新任)しました。

地頭方在住



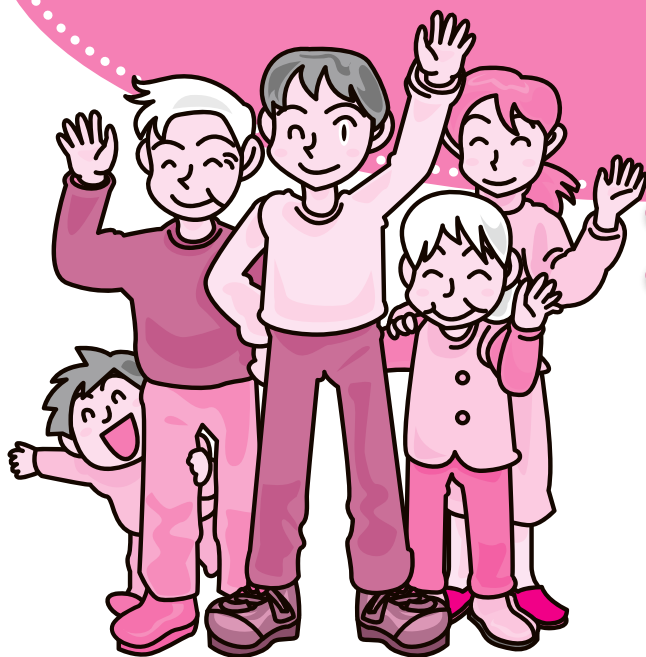
固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会
委員に江中安秋氏を
選任同意(新任)しました。

飯島新田在住



町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



「生理の貧困」へ どう対応するのか

▶ 緑友会 戸谷 照喜 議員

問 コロナ禍が一層進行する中で、生理の貧困が日本においても大きな社会問題となっている。この間、失業や休業などによって収入が途絶え、生理用品も買えない女性や家庭が増えているのが原因だ。こんな中、大野知事は生理の貧困は女性の尊厳にも関わる問題であり、埼玉県としてもしっかり取り組むと表明している。町長はこの課題をどのように対応するのか。

答 現在町では防災備蓄品として保有しているが、今後は無料で利用してもらうよう検討する。

問 小中学校での対応は、どのようになっているか。

答 保健室に生理用品を常備しており、必要に応じて児童生徒に無料で提供している。

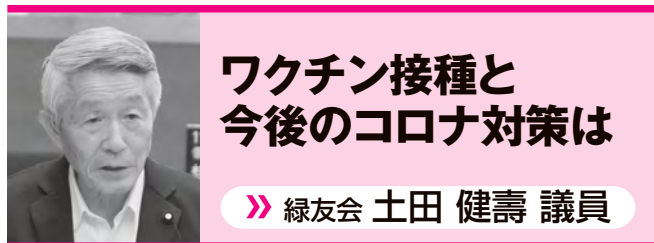
問 知事も言っているようにこの貧困は女性の尊厳に関係する事柄であり、さらに言えばただ提供すればよいという問題ではない。生理用品は必要とするすべ

ての女性にとっては極めてプライベート性の高いものであり、ここに留意すべきだ。従って、学校や役場等においても手渡しするのではなく、トイレトーパーと同じく、トイレに用具を設置してそこに置くようにすべきだ。それがジェンダー、つまり男女平等についての配慮であり、女性の尊厳を守ることだ。

答 配布場所や方法は、これからの検討課題である。本件は、コロナ禍に起因する実態として捉えた制度設計とするか、従前より存在する社会的問題として対応するかなど、さらに、問題を整理した上で、具体策を考えていきたい。



コロナ禍の下、日本でも深刻化する「生理の貧困」



ワクチン接種と今後のコロナ対策は

≫ 緑友会 土田 健壽 議員

問 高齢者予約時、電話が繋がらず困惑したが。

答 4日目以降は順次予約が取れ、6日目以降は余裕で予約が取れるようになった。

問 今回接種断念者へ、更なる呼びかけは。

答 今後も周知に努める。

問 病気等で予約出来なかった人の対応は。

答 接種できる状態になり次第、予約してください。

問 若い世代の予約は、土日に集中すると思うが。

答 集団接種週4日の内、2日間は土日対応実施。

問 高齢者接種予約対応のチラシ配布内容に、地域と役場の援助があったが、64歳以下にも対応か。

答 高齢者対応と同様に、地域と連携して実施。

問 16歳から64歳は、多人数ゆえに、予約対応は。

答 50歳から64歳と、16歳から49歳までの予約を、7月7日からと、7月14日からの予約に分ける。

問 町内企業の職域接種について、吉見町の対応は。

答 国の動向により、適切かつ柔軟に対応する。

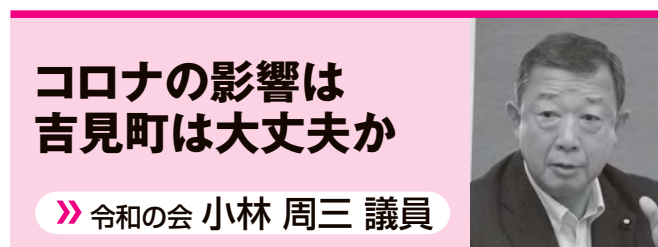
問 感染力の強い変異ウイルス対策として、町民・学校関係等に、どのような防止策を指示するのか。

答 インド株の脅威はあるが、ワクチン接種は唯一の感染防止策と思っている。強制は出来ないが自身や家族、他人への予防を含め、ワクチン接種とコロナ対策の基本遵守のお願いと、今まで以上に町民と行政が連携して、コロナ禍の収束に向けて努めていく。

また、学校関係等も感染予防対策の基本に従い、児童生徒の学びの場を確保するため、今後も引き続きコロナ対策に努めていく。



自分自身の予防と他人を守るために接種しよう



コロナの影響は吉見町は大丈夫か

≫ 令和の会 小林 周三 議員

問 令和2年度の児童生徒の学習内容は、履修が完了したのか。

答 昨年度は、長期休業のため失われた授業時数を各校時間割編成の工夫や学校行事と長期休業の期間短縮の実施により、学習内容の履修は完了した。

問 学力学習状況調査等から学習の遅れが判明した時には、どのような内容で対応するのか。

答 全国学力テスト並びに埼玉県学力調査等の結果を見ながら各学校に指導し、補充学習をしていく。

問 リモート学習の教員のための支援員の人数と業務内容は。

答 ICTを活用した授業やオンラインでのリモート学習などの機会が増加することで、教員の指導力が重要となる。支援員2名で、各校月に2回程度の訪問をし、授業前の準備から授業中の手助け、研修会などを行う。

問 リモート学習の実施状況は。

答 教員のICTに関する指導力不足や学校間の利用状況の差があるので、支援委員のサポートにより学校間、教員個人間の差がないよう努める。

問 親は、子どもが希望する学校に進学させてあげたいと考えている。学習塾に通っている状況を把握しているか。また、大手学習塾のサテライト授業を受けている自治体はあるか。

答 塾の把握していない。寄居町では中学3年生を対象に役場を会場に進路対策講座を開講している。

問 コロナの影響による町民所得減少の調査は。

答 所得影響調査は行っていない。

問 所得減収家庭への給食費無料化の考えは。

答 引き続き、保護者に食材費の負担をお願いする。



ワクチン接種でこれまでの生活に戻るが

官民の土地問題の解決を

▶▶ 令和の会 神田 隆 議員



問 町が管理する道路（西地区団地内）、水道管、下水道管等が私有地へ占有している状況は。

答 西丘陵地区の住宅団地内の町道は、団地造成時に築造された道路であり、一部個人の所有として販売時の状況で残っているものがある。町は管理区分を明確にするため、道路部分を町道として認定し、道路台帳の整備を行い管理している。また、水道管や下水管の埋設は、町道として認定下部分に地元の皆様のご理解をいただき、工事を実施している。

問 町が管理する道路（西地区団地内の個人所有の土地）に水道管や下水管等が占有している状況は。

答 西地区団地内では、水道管が約32km、下水道管が約16km、町道に埋設されている。水道管および下水管の埋設は、道路の管理者、所管課、まち整備課の占有に関する協議を経て、工事を実施している。

問 官民地等の道路、水路等の境界に対して、行政として境界査定は、どのように行われているか。

答 道路や水路に隣接する私有地の境界を確定することが必要なときは、境界確認の申請をし、申請者に添付された公図・土地登記簿謄本・測量図等を基に、現地を確認し官民境界を決定している。

問 水路等の管理不足による、農地の陥没や住宅敷地内の陥没に対し、その復旧方法は。

答 農地等の被害が生じた場合の復旧方法は、基本的に被害として認められる影響範囲内での原状復旧になると考えている。

その他の質問

・町道および水路等の破損等の事故責任について



昭和からの課題

なぜできない商業施設

▶▶ 令和の会 柳谷 泉 議員



問 町民の要望で「日常の買い物施設と娯楽施設等が欲しい」との声が多いが、今までの町の取り組み状況と今後の課題は。

答 産業交流拠点拡充のためのニーズ調査や、拡充整備検討業務を実施して、道の駅東側地権者協議会・民間開発事業者および町の3者による「（仮称）道の駅東側地区商業施設等整備事業に係る基本協定」を締結し、立地に向け、関係機関と整備手法等について協議・調整に取り組んできた。計画地が市街化調整区域であり、農用地区域である事で、協議が長期化している。

問 吉見町に他に商業施設が出来る場所は。

答 大規模施設になると、市街化調整区域であり、現状ではできない。規模にもよるが、東松山鴻巣線の4車線化が進めば、沿道等には店舗等の開発が見込ま

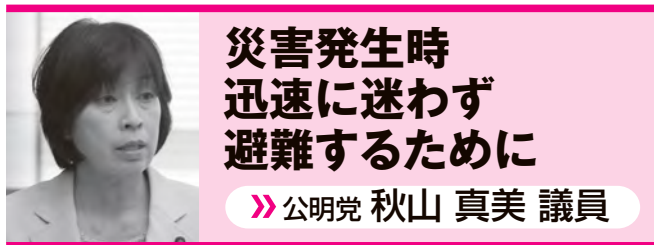
れる。

問 道の駅東側は現状時間がかかっており、町民は納得できないと思うが、他にも模索していくことはないのか。

答 東松山鴻巣線沿道においても市街化調整区域であり、町は農業維持管理するため、国・県の農村整備事業、土地改良事業等を数多く取り入れている。農林調整は非常に難しいので、時間がかかっているが、1つ1つ整理しているので、現状では道の駅東側を産業交流拠点として、いち早く整備するのが相応しいので、確実に粘り強くやっていく。

その他の質問 ・移動スーパー ・デマンド交通 ・学校のICT環境 ・町立学校統廃合 ・農業の担い手不足の解消 ・町の特産物いちごのブランド化 ・機構改革





災害発生時 迅速に迷わず 避難するために

公明党 秋山 真美 議員

問1 5月に福祉避難所の確保・運営ガイドラインが改定された。改定に伴う町の対応は。

答 あらかじめ受入対象者を特定し、本人と家族のみが避難できる施設として、指定福祉避難所に指定したことを広く町民に周知することで、大規模災害時に配慮が必要な人が過ごす指定福祉避難所に被災者が殺到し、運営に支障が生じることへの不安が解消されるものと期待される。しかし、既存の福祉避難所の規模では、希望するすべての方の受け入れは難しい。高齢者や障害のある人が必要な支援が受けられるよう、指定福祉避難所の確保を検討していく。

問 コロナ感染自宅療養者およびその家族、PCR検査結果を待っている濃厚接触者の災害時の避難は。

答 自宅療養者は、保健所が宿泊療養施設へ移送。自宅療養者家族などは、避難所内に用意される専用

スペース等で職員の指示に従って過ごす。

問 避難所混雑状況の住民への情報提供を。

答 速やかに発信できるよう取り組む。

問 ペット同行避難は昨年9月にも質問したが、避難所選定など検討されたその後は。

答 指定避難所の各小中学校に聞き取り調査を実施、場所も候補が挙げられている。引き続き協議する。また、^{*}分散避難も検討してもらえよう周知する。

問2 生ごみの各家庭での処理、雑紙の分別の推進などで、ごみの減量化とリサイクルの推進を。

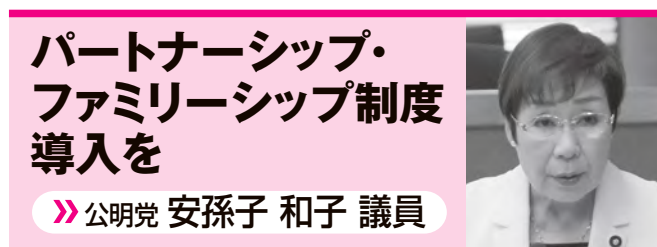
答 ごみの処理費用削減だけでなく、地球環境を守ることににつながる。学校への出前講座、広報紙や動画配信、啓発品配布など取り組みの検討をする。

その他の質問 ・ ペット避難所スターターキット導入

※分散避難とは 親戚や知人宅への避難、車中泊、ホテルなど宿泊施設の利用など、避難所以外の場所へ避難する方法。



可燃ゴミ水分量は50%超え、生ゴミの水切りで減量を



パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入を

公明党 安孫子 和子 議員

問1 パートナーシップ制度は、自治体がLGBTカップルに対して、2人の関係が結婚と同等であると承認し証明書などを発行するもの。導入の見解は。

答 県内の自治体でも導入が進んでいるので、制度導入に向け検討していく。

問 ファミリーシップ制度は、LGBTカップルが育てる子どもを家族と認める制度。導入の見解は。

答 全国で数自治体が導入したことは、確認している。県内では、現時点で導入自治体は無く、制度のもたらす効果等を含め、動向を注視していく。

問2 地域活動支援センターは、平成22年4月から委託され、12年目となったが、当初から事業費が不足し、委託先のNPO法人からの持ち出しになっている。委託料を見直すべきと考えるが、見解は。

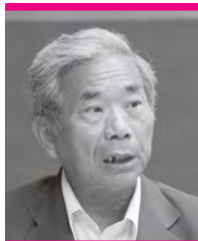
答 委託した当時、県が定める地域活動支援センター

事業の補助金を交付する基準額を示した要綱に基づき算定した。以後、委託料は据え置きにしてきたが、県の補助金交付要綱の改正や2度の消費税の増税、労働者の最低賃金が年々引き上げられているなど、当時と比べ、状況は変化している。業務の実情把握に努め、健全な運営が図れるよう、改めて精査する。

問3 今は、コロナ禍で高齢者が参加するイベント等はないが、シニアクラブ連合会のイベントや老人会単体や公民館活動、学校行事、講演会等に参加する際の移動に関係者が好意で車を出す場合がある。万が一事故が起きたらと心配する方もいる。見解は。

答 町の行事は保険に加入しているが、保険の対象外の活動等は、保険の加入等を周知していく。





役場職員の働き方改革とは

≫ 日本共産党 齊藤 嘉宏 議員

問1 時間外労働時間数を2018年度、19年度、20年度の担当課毎の実態は。

答 1番多い総務課の時間外労働時間は18年度で2666時間、19年度3174時間、20年度1838時間である。

問 1日8時間で計算すると18年度延べ333人、19年度延べ849人、20年度延べ258人不足しているが、改善策は。

答 機構改革を実施するなかで、業務の偏りを平準化し、業務の効率化が、ひとりの職員に過重にならないよう、係内、課内で業務の平準化に努める。

問 有給休暇の取得は、2019年度の取得日数が0日の人がいる課が9課。平均取得が5日以下の課が8課、5日以上が6課である。この状況をどう考えるか。

答 職員には有給休暇のほか、夏季休暇、病気休暇な

どの特別休暇もあり、職員が有給休暇を取得しやすい環境を整えることも重要かと思う。

問 時間外労働と有給休暇をみても職員が足りないことは明らか。2018年7月24日閣議決定された過労死等防止大綱では、有給休暇取得率を70%以上にする、有給休暇をあと5日取得させて平均10日位に引き上げるとあるが、対策は。

答 有給休暇の取得を促進し、多様なワーク・ライフ・バランスの実現を目指すためにも、管理職を含めて意識改革も含めたPRに努めていく。

問2 水害時の広域避難協定、浸水地域からの自動車の避難対応策は。

答 北本市の公共施設の駐車場等を使用できる協定の締結を進めている。鴻巣市内の公的な駐車場や大型店舗の駐車場も、災害時の駐車場の使用について検討する。



2市1町でのごみに関する勉強会は

≫ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問1 吉見は4月から参加し、まだ1度しか会議に出していないという中、鴻巣、北本市長の連名で建設候補地の提案がされているが、時期尚早ではないか。

答 2市で行ってきた5回の勉強会で、想定される場所として意見交換がなされた結果と考えている。

問 勉強会では、それぞれが参加していた一部事務組合が解散した経過や課題などを共有し、整理することが必要。大きな予算を伴う事業だからこそ、透明性をもって、しっかり情報を開示して進めていくことを吉見町のスタンスとして求めるが、いかがか。

答 組合が解散になり、それぞれで検証もされているので、勉強会で議論し、先に進めていく。

問2 必要経費の5割が特別交付税で措置される、高齢者のごみ出し支援制度の実施を。

答 ごみ収集環境の見直しや高齢者のごみ出し支援

制度の活用も含め、検討を進めていく。

問 ＊キエー口を活用すれば、燃やせるごみの臭いも解消し、月1回程度のごみ出し支援で済む可能性もある。交付税措置がされるようになり、実施自治体も増えている。工夫も重ねて実施を。

答 キエー口等によるごみ減量化を図る取り組みを併せることで、より効果的になることも考えられるため、調査を行っていく。

その他の質問 ・ ふるさと納税の使途の提案として①ふれあい広場に複合遊具やアスレチックの設置を②バス停に協力企業のコマーシャルベンチや自転車置き場の設置を③農業用水の水質改善対策を
・ ごみ減量化対策として①廃食油を回収してリサイクルを②生ごみを減らす取り組みとしてキエー口の販売を

※キエー口とは、黒土の中に生ごみを埋めると微生物が生ごみを分解し、消滅させる生ごみ処理機。



平成30年9月26日撮影

埼玉中部環境保全組合議会定例会 ごみ処理(可燃、粗大)

» 齊藤嘉宏 議員

日 時 令和3年5月25日(火) 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席者 齊藤嘉宏 戸谷照喜 柳谷泉 神田隆

新たな議長選挙が行われ、吉見町の神田隆議員が当選しました。

施設の運転維持管理業務は、順調に推移しています。

第2期大間最終処分場は、関係機関と調整していますが、特に進展はないとのこと。

■令和2年4月～令和3年3月の搬入量

	組合全体	吉見町
可燃ごみ	36,511.35t(前年比△2.41%)	3,631.44t(前年比△2.87%)
粗大ごみ	1,807.38t(前年比 15.74%)	245.63t(前年比 22.20%)
合計	38,318.73t(前年比△1.68%)	3,877.07t(前年比△1.59%)

焼却灰全量(4,282.52t)は、セメント原料として処分委託されています。

..... 付議された議案

○議案第4号 監査委員の選任同意について

北本市の渡邊良太議員選任同意について、原案のとおり同意されました。

比企広域市町村圏組合議会臨時会 消防、斎場、介護認定・障害支援区分審査等

» 安孫子 和子 議員

日 時 令和3年5月25日(火) 午前10時から
場 所 東松山市議会議場
出席者 岩崎勤 安孫子 和子

東松山斎場建設工事 6月30日で完了

..... 付議された議案

○議案第18号 財産の取得について

小川消防署とさがわ分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入。

○議案第19号 財産の取得について

東秩父消防団第2分団3部に小型動力消防ポンプ付水槽車を購入。

○議案第20号 比企広域市町村圏組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

○議案第21号 令和3年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算(第1号)について

4議案は、原案のとおり可決されました。

北本地区衛生組合議会臨時会 し尿処理

» 土田 健壽 議員

日 時 令和3年5月28日(金) 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議会議場
出席者 土田健壽 荻野勇 小林周三

新たな議長副議長選挙が行われ、議長に北本市の松島修一議員が、副議長に吉見町の小林周三議員が当選しました。

..... 付議された議案

○議案第6号 監査委員の選任について

鴻巣市の橋本稔議員の選任同意について、原案のとおり同意されました。



中央監視室
汚泥を処理し、川に放流するまでの工程監視装置

定例会のお知らせ

吉見町議会

9月定例会

8月31日(火) から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

新型コロナウイルス感染症拡大防止を防止するための「新しい生活様式」の行動変容により、傍聴席への入場をお断りさせていただくこともありますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、3階大会議室を視聴会場としてモニターを設置いたしますので、こちらで、ご視聴をいただけます。
※視聴の際は、マスクの着用をお願いいたします。

県議会からのお知らせ

「こんにちは県議会です」(テレ玉)

日曜日 午前10時00分～10時15分
県議会に関するさまざまな情報を
タイムリーに放送中



表紙の題字



(撮影時のみマスクを外しています)

久保田秀至さん 古名在住 中央公民館館長兼図書館長

教職生活37年で退職後、ときがわ町の保育園長、嵐山町図書館長、吉見町の中央公民館および町民会館の館長を歴任され、本年7月1日、初代館長に就任されました。「多くの方に気軽に訪れてほしい。親しまれる館の運営、末永く利用していただける基礎を作っていきたい」とお話をされていました。

吉見町図書交流館は、図書館と公民館の機能を合わせ持つ、生涯学習施設として7月22日から利用が開始されました。開放感あふれる明るい館内。愛称は公募され「ぶらっとよしみ」に決定。週替わりで行政区ごとの作品展なども行われます。



吉見町図書館等複合建設検討委員会は、平成28年11月28日から令和3年7月17日まで、第16回で最終となりました。4年8か月の長きにわたり大変お疲れ様でした。(平成30年11月22日栃木県視察)



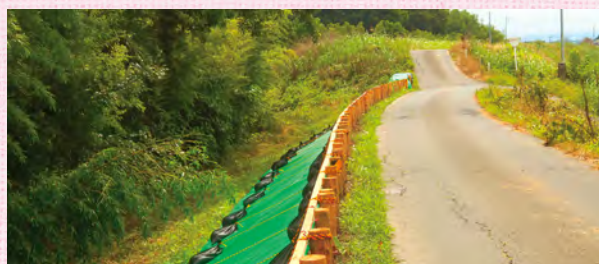
表紙の写真によせて



令和元年台風第19号の時に、越水のおそれがあり、県に対し、市野川堤防の強化を求めている大串台山・荒子地区で仮設工事が行われました。

また、江網地先でも、浚渫工事等が行われています。これから出水期を迎えるにあたり、防災ハザードマップの説明会が各地区で開催されました。

災害は、いつ起きるかわかりませんので、各自、備えをお願いいたします。



議会だより編集特別委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)



土田健壽 柳谷 泉 秋山真美
◎齊藤嘉宏 ○神田 隆

委員会には、議長も相談役として参加しています。
(撮影時のみ、マスクを外しています)



吉見町議会QRコード

編集後記

吉見町では、6月から新型コロナウイルスのワクチン接種が65歳以上の高齢者から始まりました。現在は、16歳から64歳までの方の受付も始まり、感染を一日も早く抑え込み、平時の暮らしを取り戻せるよう願うものです。

また、町民生活を守る立場から、第3次のコロナ対策費も決まりました。

今号から、新しくなった構成で、町民の皆さんに分かりやすく、読みやすい、議会だよりに努めてまいります。(齊藤)

この議会だよりは再生紙を使用しています。